

分倍河原駅周辺まちづくり協議会 第22回全体会議事録

- 1 日 時：令和6年5月30日（木）午後6時30分～7時20分
- 2 場 所：片町文化センター3階講堂
- 3 出席者：浅野副市長
府中市 まちづくり拠点整備推進本部 分倍河原駅周辺整備担当 職員6名
府中市 総務管理部 財産活用課 職員2名
分倍河原共栄会 4名
片町二丁目自治会 1名
片町三丁目自治会 1名
美好町三丁目自治会 3名
分梅第一自治会 2名
分梅高倉自治会 1名
野村不動産コマース株式会社 1名
野村不動産株式会社 1名
株式会社首都圏総合計画研究所（コンサルタント） 3名
- 4 資 料：分倍河原駅周辺まちづくり協議会第21回全体会議事録
資料1「議題1：分倍河原駅周辺地区のまちづくりの取組みについて」
資料2「議題2：にぎわいづくりの検討体制について」
資料3「報告1：府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会について」
参考資料「にぎわい検討部会における現時点のイメージ」

5 内 容

（○：出席者からの意見・質問、⇒：意見への回答等）

- 本日は今年度初めての協議会となり、内容は3点である。
 - 1点目は「分倍河原駅周辺地区のまちづくりの取組みについて」である。地区のまちづくりの進捗状況等を時系列でまとめた資料を用いながら情報共有したい。
 - 2点目は「にぎわいづくりの検討体制について」である。昨年度から議論されているにぎわい検討部会の体制づくりについて、副会長と相談しており、進展があったため、この件について議題2で話したい。
 - 3点目は「府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会について」である。まちづくり協議会の内容について、交通戦略推進協議会の場で共有したため、報告したい。
- また、前回に引き続き、副市長に出席いただいた。一言お願いしたい。（会長）
- 会長からもあったが、本日は今年度初めての協議会となる。市は昨年度、駅前の整備を中心に、駅前の溜まり空間、JR・京王の駅舎、東西と南北の自由通路の4つの施設の基本設計に着手している。
 - 昨年度のまちづくり協議会では、地理的な条件により、溜まり空間に段差が生じることなど、複数の条件を確認しながら、駅前溜まり空間の整備における考え方などについて

て協議した。そのうえで、駅周辺の基盤整備の必要性及び内容は共有できたと認識している。今後は、現在進めている基本設計の完了後に、改めて状況をご説明したい。

その他、前回協議会の際に、駅周辺の基盤整備が具体化してきたため、まちのにぎわいに資するソフト面の取組みを議論していくこととなった。今年度は、まず本日の議題にもあるとおり、改めてにぎわいづくりの検討体制及び検討の進め方を協議したい。

今後は市も検討をサポートしたいと考えており、にぎわい検討部会を再始動させ、地元が一体となり、商店街のにぎわいづくりや街並みの整備等について、建設的に議論いただければと考えている。今後もまちづくり協議会の皆様の力を借りて皆様と丁寧に意見交換をしながら、まちづくりを進めていきたい。今年度もよろしく申し上げます。

(市：副市長)

(1) 分倍河原駅周辺地区のまちづくりの取組みについて

・事務局から、資料1に基づき「分倍河原駅周辺地区のまちづくりの取組みについて」の説明を行った。

○ 2点ある。1点目は、各施策が時系列で整理されているため、駅周辺基盤整備の施策について、覚書・基本協定を締結し、基本設計に入っていることが分かるが、借地人やテナント等の借家人を含む地権者等への説明や用地取得に向けた対応の過程も重要であるため、記載してほしい。昨年度、テナントにアンケート調査を実施したと聞いているが、その程度の内容まで詳細に記載した方が良い。

2点目は、駅周辺基盤整備の施策の周知についてである。買い物客や通勤通学の方等一般利用者への周知の項目を資料に追加し、これまでの取組みとそれを踏まえた今後の対応方針が必要と考える。(美好町三丁目自治会)

○ 1点目は、用地取得について、2点目は駅周辺基盤整備の周知の徹底である。この2点について、資料に何らかの工夫が必要との意見である。(会長)

⇒ 1点目の用地取得については、個人的な内容となり、個別に状況が異なるため、具体的な記載は難しい。しかし、用地の測量等、一般的な流れは記載が可能であるため、可能な範囲で記載する。

2点目の周知については、分かりやすく周知ができるように引き続き地区のまちづくりの内容をホームページに掲載する等により周知を図りたい。(市)

(2) にぎわいづくりの検討体制について

・事務局から、資料2と参考資料に基づき「にぎわいづくりと今後の検討体制について」の説明を行った。

○ 前回の協議会で、次回の協議会までに私と副会長でにぎわい検討部会の体制を検討して、状況を共有すると話した。その結果、現在の構成員に加えて、分梅高倉自治会の方に委員となってもらうのが良いとの案が出ている。この方は、商工会議所の委員を歴任した等の経歴がある。自己紹介をお願いしたい。(会長)

○ 私の店舗は府中駅北口にあり、府中駅北口商店会の会長をしている。最近まで、商工

会議所で副会長をしていたが、現在は退任して監査役となった。府中銀座商店会が解散したため、45の商店会となったが、商店街連合会の一員で「フーちゃんお買物券」の取組みを行っている副会長等、当地区の方との関わりもある。（分梅高倉自治会）

- 近々、にぎわい検討部会を開催したいと考えている。7・8月頃となる予定であるが、できるだけ早い時期に開催したい。また、にぎわい検討部会の会則に従い、委員に了承を得られた場合は、この方を委員として迎え入れ、その中で様々なご意見をいただきたい。また、にぎわい検討部会の開催結果は当協議会でも報告したい。議題2について、意見等があれば、お願いしたい。（会長）
- 過去の協議会でも提案したが、地域の中学生等の若者の意見を聞くと良いと思う。今年の府中第四中学校の卒業式と入学式に出席した際に生徒の合唱を聴いたが、感銘を受けた。生徒が合唱に前向きに取り組んでおり、全日本合唱コンクールで金賞を受賞した実績を持っているほどの実力もある。そのような子どもたちのにぎわい検討部会やにぎわいに係るイベントに参画してもらい、若い方の視点で様々なことに取り組んでもらうと良いと思う。府中第四中学校に対して、「分倍河原駅周辺地区でにぎわいづくりを検討しており、生徒に関わってもらうのはどうかと考えている。」と話したところ、校長先生から前向きに考えたいとの話をいただいた。（片町二丁目自治会）
- 私も市制施行70周年記念式典で府中第四中学校の合唱を聞いたが、非常に素晴らしかった。そのような若い方のにぎわいづくりに参加してもらい、検討や活動を進めることも考えていく必要がある。（会長）
- まちづくりを進めるうえで、まちづくり府中の協力を得ることも可能ではないか。まちづくり府中は、一般社団法人として、府中駅周辺を中心市街地エリアを対象に活動していたが、令和6年4月に株式会社となった。それに伴い、活動の対象を府中駅周辺だけでなく、もう少し広範囲とすることも可能となるはずだ。その場合、府中駅の隣駅である分倍河原駅周辺も活動の対象となり得る。

まちづくり府中が行っている事業は、竹あかりによるライトアップ、マルシェ事業、700円程度で4枚つづりのチケットを販売し、提携の居酒屋ではしご酒ができる「まちバル」というイベント等、多岐にわたる。その他、まちづくりに資する講座である「まちゼミ」を開講している。これは、愛知県岡崎市の商店街活性化事例により全国に普及しているものであるが、まちづくり府中は熱心に取り組んでおり、年2回程度開催している。

このように、全国の商店街活性化事例を取り入れながら様々な取組みを行っており、市からも出向している他、専門スタッフが常駐している。まちづくり府中の知恵を借りながらにぎわいづくりについて検討することも手法の1つと考えられる。（分梅高倉自治会）

- まちづくり府中とはどういった団体になるのか。（会長）
- まちづくり府中は一般社団法人として、複数の団体から出捐金を出すことで活動していたが、今年度から株式化され、株式会社となった。市からも出資しているため、市は株主の立場となる。一般社団法人の場合は活動内容に制約があるが、株式会社となったことで様々な事業展開が可能となる。

まちづくり府中は、市の中心市街地である府中駅周辺でエリアマネジメントの取組み

を行っている。一般的に物を置くことができない市の道路空間について、市から許可を受け、道路の管理をしながら、事業を行っている。このように自由な発想でイベントを開催する等、まちおこしのための組織として、役割を果たしている。

まちづくり府中にはコーディネーターがおり、現在は府中駅周辺を対象に活動しているが、今後は府中市の各駅を拠点として事業展開していきたいとも考えている。

まちづくり府中との連携も含めて、今後、にぎわい検討部会で、まちをコーディネートし、様々な部門からの補助金の捻出等を支援するコンサルタントと検討を進めることも考えられる。にぎわい検討部会で何をしたいか、誰に協力を求めるかを含めて、様々なアイデアを出してほしい。

検討した内容の実現に向けた取組みを地元の皆様が直営的に行うのではなく、コーディネーターを雇い、協力しながら取り組むという方法もある。

○ にぎわい検討部会では、にぎわいづくりの検討の一つとして、まちづくり府中との協力について議論することも重要である。（会長）

⇒ まずは、にぎわい検討部会で構成員等の組織体制を含めて議論いただきたい。にぎわいづくりについては、様々な可能性を含めて、アイデアを出し合いながら進めていきたい。

にぎわい検討部会の再開にあたり、初めは市である程度の協議体を整えたうえで開催するが、検討を進めていくなかで、地元の方が中心となり、継続性のあるにぎわいづくりに取り組んでいただければと考えている。（市）

○ にぎわい検討部会で具体的にどのような検討をするのかが分かりにくい。

例えば、今まで、地区計画等検討会でまちづくり誘導計画に係る商店街区域の施策が検討・整理されてきた。にぎわい検討部会ではイベント等にぎわいに係る企画を検討することになると思われるが、これまで検討してきた都市計画に係るまちづくり誘導計画との関連性はどのようになるのか。参考資料に狛江駅周辺の自転車の押し歩きの事例があるが、「押し歩きのルールをどのように作るのか」、「店舗利用者の自転車をどこに置くのか」、「東西自由通路のエレベーターに自転車は乗り入れないこととするのか」等にもにぎわいづくりと関連性がある。

このように、にぎわい検討部会における具体的な検討内容をもう少し整理した方がよい。（美好町三丁目自治会）

○ 新たに議論を始める内容だけではなく、今まで検討してきた内容も含めて検討する必要がある。次回のにぎわい検討部会で整理したい。（会長）

⇒ にぎわい検討部会の初回では、今後の具体的な検討内容を含めて、皆様と議論したいと考えている。

地区計画等検討会で検討してきたまちづくり誘導計画との関係性は資料1に記載があるとおり、にぎわい検討部会で出された意見をまちづくり誘導計画に反映させる等、整合を図りながら検討を進めたい。（市）

(3) 府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会について

・事務局から、資料3に基づき「府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会について」の報告を行った。

- できるだけ、地元の要望等を交通戦略推進協議会で発言したい。（会長）

- 本日の主なテーマとしてにぎわいづくりがあったが、にぎわいは大きなテーマであるため、枠にとらわれずに様々な意見を出していただきながら進めていきたい。当地区のまちづくりはこれまでは計画段階であったが、今後は事業段階に進むこととなる。事業段階という新しいステージに進む第一歩として、にぎわい検討部会で様々なことを協議していただきたい。取り組みが小さいことでもその積み重ねが大きな効果を生むと思うので、その活動に対して市も支援をしていきたい。（市：本部長）
- 分倍河原駅周辺まちづくり協議会第22回全体会を以上で閉会とします。ありがとうございました。（会長）

以上